

本院で2013～2018年に食道、胃、小腸、大腸の手術

を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

～手術で取り除いた臓器の医学研究への使用のお願い～

【研究課題名】

走査電子顕微鏡及びラマン分光器を用いたヒト消化管におけるアウエルバッハ神経叢分布の解析

【研究の対象】

2013年7月～2018年7月の5年間に、当院の消化器外科または小児外科で、食道癌、胃癌、大腸癌、腸閉塞、潰瘍性大腸炎、クローン病などの消化管（食道、胃、小腸、大腸）に対して手術を行い、臓器を取り除いた患者さん。

※ ご自身や家族が研究の対象かどうかご不明な場合は、末尾の問い合わせ先まで遠慮なくお問合せ下さい。

【研究の目的・方法について】

食道から胃、小腸、大腸と消化管の内部に網目状のネットワークを張りめぐらす腸管神経叢は、腸管蠕動や粘液分泌、血流調節に欠かせません。その腸管神経叢は消化管の筋層の間にあり筋層間神経叢（アウエルバッハ神経叢）と呼ばれています。走査電子顕微鏡(Scanning Electron Microscope; SEM)による腸管神経叢の研究は、豚やラットでの報告は散見されますが、ヒトでの報告はほとんどありません。ヒトの消化管での詳細なアウエルバッハ神経叢の分布が分かれば、その分布を基にした手術の術式（切除腸管の範囲）を考慮することができる可能性があります。また、ラマン分光法は物質にレーザーを照射した際に、物質それぞれ固有の散乱光（これをラマン散乱光と呼びます）があり、これを利用して物質を特定する手法です。その原理に基づいて、消化管における神経線維、筋線維、脂肪やコラーゲン線維などの局在を明らかにすることが可能となります。このラマン分光法を用いることで、アウエルバッハ神経叢を術中に可視化する技術の実現が期待されます。

研究期間：2018年8月23日から2027年3月31日まで

【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、既に消化器癌の治療を受けられた患者さんの診断に用いた部

位以外の組織（試料）を医学研究へ応用させていただきたいと思っております。なお患者さんの組織（試料）及び診療記録（情報：性別、年齢、BMI、既往歴、左右、初発/再発、術式、麻酔方法、使用抗生剤、手術時間、出血量、術中偶発症、術後合併症、術後在院期間、再発有無、再発時期、再発後治療）を使用させていただきますことは本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

組織（試料）の保存は論文発表後5年間、診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、組織（試料）は焼却処分します。診療情報については、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないようにしたりして完全に削除します。

【外部への試料・情報の提供】

本研究で得た試料・情報の外部への提供は行いません。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来医薬品などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部消化器・小児外科学講座の寄付金を用いて研究が行われ、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ試料（組織）および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除

外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

研究責任者

大分大学医学部消化器・小児外科学講座 教授 猪股 雅史

研究分担者

大分大学医学部総合外科・地域連携学講座 教授 白石 憲男

大分大学医学部消化器・小児外科学講座 准教授 衛藤 剛

大分大学医学部附属病院消化器外科 講師 白下 英史

大分大学医学部総合外科・地域連携学講座 准教授 上田 貴威

大分大学医学部附属病院高度救命救急センター（消化器外科） 講師 柴田 智隆

大分大学医学部消化器・小児外科学講座 助教 赤木 智徳

大分大学医学部附属病院高度救命救急センター（消化器外科） 助教 河野 洋平

大分大学医学部附属病院高度救命救急センター（消化器外科） 助教 藤島 紀

大分大学医学部附属病院消化器外科 助教 鈴木 浩輔

大分大学医学部附属病院小児外科 病院特任助教 小川 雄大

大分大学医学部消化器・小児外科学講座 客員研究員 大嶋 佑介

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5843

担当者：大分大学医学部消化器・小児外科学講座

小川 雄大（おがわ かつひろ）